



～今月の目次～

- ・つなげ手ねっと！ 今月の書き手は「点工房」さんです
- ・ボラセンノート 「きっかけは人それぞれ」



このコーナーは、毎月書き手を変えてボランティアのあんなこと、こんなことを述べていただきます！

**今年度のテーマ 「障害者をサポートするボランティア」**

**タイトル 「こんにちは 点工房です」**

**今月の書き手 点工房 内藤 美穂**

現在のグループ名になってから 16 年になる点工房は、昼の部 26 名夜の部 15 名の計 41 名で活動しています。

主な活動内容は、視覚障碍者の方のために文章を点字で読めるようにする事、つまり点訳です。皆さんは、点訳というと、どんなイメージが浮かびますか？点字板に点筆でプチプチ、間違えたら初めからやりなおし！という光景が浮かぶ方も多いと思います。

確かに、点字の勉強は点字板からはじまります。でも、便利な世の中になりました。現在は、パソコンで点訳し、そのデータをプリンターで印刷します。

点工房で点訳するものは、大きく分けて三つあります。

まず、市からの委託により、広報とよはしや市議会だよりの点字版の定期発行をしています。

二つ目に、個別の点訳依頼にも対応しています。小説などのほか、料理のレシピ、学校の教科書、聖書、将棋の棋譜など、依頼内容は多岐にわたります。点訳する私たちも、普段あまり縁のない世界に触れる事のできる、貴重な機会です。

最後に、インターネット上の点字図書館であるサピエ図書館に、点訳した書籍のデータをアップしています。サピエ図書館では、データのダウンロード数など、様々な情報を検索する事ができます。アップ用に点訳する本の選定は大変ですが、とてもやりがいがあります。

以上の点訳活動の他に、盲学校、点字図書館等の視覚障碍者向けの施設を見学する研修旅行も、年に一度行っています。

俄然点訳に興味の湧いてきたそのあなた、私たちの仲間になりませんか？

点工房では、5月から点訳ボランティア養成講座を予定しています！

# ボラセンノート



先日、福祉実践教室開催のため市内の小学校に行ってきました。生徒たちは講師の話や説明に耳を傾け、寒い中にも関わらず、車いす体験や盲人ガイド体験に取り組んでいました。もちろん笑顔もあり、楽しみながらも真剣に取り組む姿は微笑ましいものでした。

豊橋市社会福祉協議会が進める福祉事業の柱の一つに、「福祉教育の推進」があります。次代を担う子ども達が福祉・障害等について理解を深めることが、未来の社会づくりにつながると考えているからです。

私も、中学校の時に「手話クラブ」に在籍する機会があり、週一回の活動で一年間続けました。その成果は惨憺たるものでしたが…。

それから約20年経ち、そのクラブの講師の方と再会する機会がありました。目に入る今の姿と当時の面影が即座につながり、中学生時代の記憶が蘇ってきました。その方が教壇に立っている姿、指文字や手話表現を教えてくれた時、当時子どもで聴覚障害が理解できておらず声で話しかけていた自分自身…。『年をとるに連れて記憶力は低下するが、幼少時の記憶は残りやすい』を実感した瞬間でした。

とは言え、何かを学び始める・新しいことに取り組む事に老若は関係ありません。社会福祉協議会では、年間を通じて様々なメニューで皆さんの『生きがいづくり』をお手伝いいたします。

## ・・・編集後記・・・

寒さが和らぎ、だんだんと暖かい春の気候となってきましたね。寒いと足踏みしていたお出掛けにも行きたくなる季節です。

インフルエンザがまだ猛威を奮っていますが、発症している人にとってこの時期に辛いのが花粉症…。

どちらの対策も万全に、お花見や行楽など春のお出掛けを楽しみたいですね。



## クイズ・ぼら Q ?

Q

手話を知らない聴覚障害者（難聴者や中途失聴者）に、「文字」で情報を伝える方法を何というでしょう？

- ①要約筆記      ②点字      ③速記

A

答え：①  
話の内容などを『まとめて書いて伝える』ことを要約筆記といいます。  
大きな講演会などでは、ステージの横でスクリーンに映し出して行っていることもあります。

## 編集・発行

豊橋市社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒440-0055 豊橋市前畑町 115

TEL (0532) 52-1111 FAX (0532) 52-1112

MAIL info@toyohashi-shakyo.or.jp

HP http://www.toyohashi-shakyo.or.jp/

ボランティアセンター  
公式 LINE アカウント



@toyohashi-shakyo\_v

# ぼらめ〜と3月号 講座・イベント ボランティア情報

編集・発行  
豊橋市社会福祉協議会  
ボランティアセンター  
TEL (0532) 52-1111  
FAX (0532) 52-1112  
〒440-0055  
豊橋市前畑町 115

## 豊橋市社会福祉協議会ボランティアセンター 公式 LINE アカウント

お友だち600人達成！！皆様のご登録お待ちしております♪

登録方法①LINE を立ち上げる→その他→友だち追加→ID 検索

→@toyohashi-shakyo\_v を入力

登録方法②LINE を立ち上げる→その他→友だち追加→QR コード

→右の QR コードを読み取る

QRコード



## 🌸 手話入門・基礎講習会

聴覚障害者の生活や利用できる福祉サービスについて学び、手話で日常会話を行うために必要な簡単な手話単語、手話表現技術の習得を目的とした講座です。

**日時**：4月14日～来年3月23日の毎週土曜日（全45回。5/5、8/18、11/24、12/29、1/5を除く） 18：30～20：30

**場所**：総合福祉センターあイトピア

**内容**：聴覚障害を持つ方からのお話、行政施策や、具体的な手話について講義と実技を交えて学びます。

**対象**：市内在住・在学・在勤の方

**定員**：30名（抽選）

**参加費**：無料（別途テキスト代として3,000円程度必要）

**申込み**：3月23日（金）までに、豊橋市社会福祉協議会へ



## 🌸 地域で活躍!!レクリエーションリーダー講座（前期）

地域の高齢者を対象にした介護予防の場作りをするボランティアの養成講座です。

**日時**：5月24日～6月28日の毎週木曜日（全6回） 13：30～15：30

**場所**：大清水地域福祉センター（大清水町字大清水 546）

**内容**：レクリエーションリーダーの活動の紹介、介護予防体操、脳トレ、身近なものを使った楽しいゲームや簡単にできる工作 など

**対象**：講座受講後、ボランティアとして平日の日中に活動可能な方

**定員**：20名（申込順）

**受講料**：無料

**申込み**：5月16日（水）までに、豊橋市社会福祉協議会へ



## 🌸 聴覚障害児通所施設 春期ボランティア募集！！

聴覚障害がある子どもが通う施設です。手話ができるできないに関わらず、元気いっぱい子ども好きなボラさん、募集しています。

**期 間**：3月20日(火)～4月6日(金)

**時 間**：11:00～17:30

**場 所**：聴覚・ろう重複センター楓（豊橋市堂坂町13番地）

**内 容**：子どもの遊び相手、おでかけなどの付添、宿題の見守り 等

**申込み**：聴覚・ろう重複センター楓

TEL/FAX 0532-39-6209（ボランティア担当：長谷）

**楓 HP**：<http://kaede.tukusi.org/>



## 🌸 デイサービス 傾聴ボランティア募集！

デイサービスの利用者を相手に傾聴をするボランティアを募集しています。

**傾聴とは？**：相手のペースで、心に寄り添いながらお話をお聞きする活動です。生活環境や心身の状態により日頃の会話の機会が少ない方が安心して話す時間をもつことで、日々の活力に繋げていただくことを目的としています。

**日 時**：月曜日～土曜日 10:00～16:00の間で応相談  
（1回当たり30分～1時間程度）

**場 所**：デイサービス フラワーサーチ（東高田町670）

**その他**：複数人でのお申込みも可能です。週に複数回お越しいただける方を特に歓迎いたします。

**問合せ**：豊橋市社会福祉協議会



## 🌸 平成30年度 ボランティア活動保険のご加入について

- ① ボランティア活動中の事故により、ボランティア本人がケガをした場合
- ② ボランティアの方々が、ボランティア活動によって他人に対して損害を与えたことにより、損害賠償問題が生じた場合に、補償をする保険です。

現在加入中の方には、3月中に30年度のご加入のご案内をお送りいたします。3月中に手続きをしていただくと4月1日から保険が適用されますので、来年度もボランティア活動を継続される方は、早めのお申込みがおすすめです。（※加入手続きは4月1日以降でも随時受け付けをしますが、その場合保険の適用は手続きの翌日からとなりますので、ご注意ください。）

万が一の時に備えて、是非ご加入をご検討ください。

保険の詳細につきましては、豊橋市社会福祉協議会までお問合せください。

↓最新情報は、随時ホームページにアップしています！↓

<http://www.toyohashi-shakyo.or.jp/>